

終了予定時期(産地パワーアップ事業基金、 担い手経営発展支援基金)

取りまとめ

【当該基金について】

- 直近の執行額を前提に、基金の執行見込み額を見直すとともに、現在の残高でどの程度の期間、運営が可能か精査すべき。
- 中長期の成果目標を見直すとともに、それを踏まえた基金の終了期限の設定を検討すべき。

【今後の基金の見直しにあたっての検討】

- 基金への新たな予算措置を検討する際には、各年度の所要額が概ね予測可能なものについては、繰越制度の活用も前提に、基金によらない通常の予算措置によるべき。
- 基金の終了期限については、当面具体的に見通せる成果目標を早期に検証する観点も踏まえて、具体的な期限設定を行うべき。
- 基金への予算措置は、3年程度を目途として、成果目標の達成状況をみて、次の措置を検討すべき。
- 足下の執行状況を踏まえた合理的な事業見込みを算定し、保有資金規模が適正なものとなるよう、毎年度の基金シートにおける基金の点検を厳格に行うべき。